



岩出市立山崎小学校
令和6年3月4日
No. 22
文責：柏木



学校評価結果の報告について

「学校評価」とは、学校教育法第42条の「教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。」という規定に基づき、全ての学校で実施されているものです。

評価となるアンケートは、学校は全教員を対象に、保護者は今年度の愛育会本部役員さんと地区委員さんを対象（そのうち回答のあったのは44名）に実施しました。また、全校児童にも実施しています。

アンケートは、「4：できている 3：ほぼできている 2：あまりできていない 1：できていない 0：わからない」とし、集計表は、その平均値を示しています。（「0：わからない」は集計から除いていますので、最大値4.00 最小値1.00となります。）

学校・保護者アンケート		学校 平均点	保護者 平均点
番号	評価項目		
1	学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。	3.37	3.28
2	学校は、児童や地域の実態をふまえた特色ある取組を進めている。	3.06	3.03
3	学校は、開かれた学校づくりに努めている。	3.69	3.30
4	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	3.66	3.17
5	学校は、心豊かでたくましい子どもを育てている。	3.24	3.28
6	学校は、児童の安全についてよく把握し、指導している。	3.43	3.23
7	学校は、人権を大切にする意識を育てている。	3.56	3.26
8	学校は、生命を大切にする心や態度を育てている。	3.26	3.31
9	学校は、社会のルールを守る心や態度を育てている。	3.40	3.22
10	学校は、子どもの学力向上に努めている。	3.54	3.27
11	学校は、学校の様子を保護者や地域によく伝えている。	3.34	3.28
12	学校は、感染対策によく取り組んでいる。	3.34	3.40
13	子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	3.00	3.21
14	子どもは、自分の学級は楽しいと言っている。	3.25	3.33
15	子どもは、進んであいさつができています。	2.40	3.09
16	教師は、子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。	3.49	3.33
17	教師は、子どものことについての相談に適切に応じている。	3.51	3.48
18	教師は、子どもの間違っ言動に温かく・厳しく指導している。	3.51	3.49
19	教師は、子どもをよく理解している。	3.23	3.45

令和5年度 児童用学校生活アンケート

番号順一覧		R5	R4
1	授業は、楽しく分かりやすい。	3.40	3.54
2	授業では、話し合う活動がよく行われている。	3.48	3.46
3	授業をまじめに受けている。	3.30	3.36
4	学校は、楽しい。	3.61	3.68
5	進んであいさつしている。	3.25	3.22
6	ろうかは、右側を歩いている。	2.96	3.02
7	係活動やそうじは、まじめに行っている。	3.54	3.56
8	進んで運動をしている。	3.32	3.33
9	学校行事が楽しみだ。	3.65	3.68
10	毎日、朝ごはんを食べている。	3.66	3.69
11	感染予防（インフルエンザ、新型コロナ等）に努めている。	3.24	3.47
12	先生は、相談にのってくれる。	3.61	3.67
13	先生は、自分がまちがったことをしたり言ったりしたとき、あたたかく・きびしく注意してくれる。	3.70	3.68
14	先生は、自分のことをよくわかってきている。	3.49	3.61
	平均	3.44	3.49

アンケート結果から見えてきた成果や課題等

※児童アンケートから

- アンケート全般、昨年度同様概ね良好な回答結果となりました。子どもたちの中では、⑬先生は、自分がまちがたことをしたり言ったりしたとき、あたたかく、厳しく注意してくれる。が最も高くなり、なぜ叱られたのかなど理解するとともに、⑫⑭も含め、子どもたちの言動に注意しながら、先生との良好な関係性を続けて参ります。
- ④⑨…学校へ行くことを楽しいと感じる児童が多く、大変うれしく思います。
- ②…学校の研究が対話的な学習と設定しており、昨年に引き続き児童も話し合いのある授業を実感してきています。
- ⑩の結果より、毎日朝ごはんを食べていない人がいることから協力をお願いします。

※保護者・学校アンケートから

- 保護者・学校とも前年比+となった項目は、①②⑥⑦⑨⑮⑯⑰⑱と令和4年度の2項目から大幅に増えました。この背景には、5月以降の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学校の教育活動や社会生活が令和元年度以前に戻ってきたことが大きく関係すると思われます。また、学校の様子も各種行事や通信（HP）での発信に努めて参ります。
- 学校と保護者のポイント差が最も大きかったのは、⑮「進んであいさつする」の項目です。気持ちの良い挨拶が自然とできるよう、我々教員もあいさつに取り組みます。
- 保護者の方で大きく評価が上がった項目は⑩「学力向上に取り組んでいる」でした。本校の学習状況については、11月6日付校報（No.14）でお知らせしたとおり、良好な結果となっています。引き続き、日々の授業を大切にしながら、楽しく分かる授業に取り組んでいきます。